



見上 弘明
(社団法人すすきの観光協会 副会長)

喜井 萌希
(すすきの盛り上げ隊 リーダー)

松尾 和子
(すすきの麗しい会 世話人代表)

毛利 穂
(豊水地区第13町内会 会長)

すすきの

懐の広さと奥の深さで、人を惹き付けてやまないすすきの。札幌の歴史と切っても切り離せないこの場所の入口に立つ良き相談役と、仲間入りをしたばかりの若者が語る、すすきののこれから。

一約 20 名が参加する「すすきの盛り上げ隊」ができるきっかけを教えてください。

喜井: 昨年札幌市によって採択された、「すすきの若者地域活性化プロジェクト(※1)」という地域密着型の雇用を作り出すプロジェクトがありまして、6月から今年の3月までが雇用期間なのですが、任期が終わっても、そのまま継続できる集団を作りたいと思ったのがきっかけです。今後もお祭りに参加したり、自主企画でイベントを開催したりしようと思っています。

見上: 迎え入れる側にとっては、最初は「何者なの?」といった感じでした(笑)。でも一緒に呑んだりしているうちに、打ち解けてきて。お酒の場で意気投合というのは、すすきのの良さを表しているエピソードですよね。

喜井: いきなり「今日からすすきのに関わります」と言っても、どこから入っていけばいいのかかわからないので、活性化プロジェクト(※2)の座長をされている見上さんにいろいろな方を紹介して頂いて。毛利社長にもアポイントメントを取っ

て、「すすきのについて教えてください!」って突撃訪問しました(笑)。

毛利: 彼女は盛り上げ隊というより、突撃隊です(笑)。この地域はお祭り好きの地域ですし、若い人のパフォーマンスはすすきのにも必要ですので、盛り上げ隊ができたことは良かったと思っています。

—すすきのの移り変わりなどを見てきて、感じることはありますか?

松尾: 私がこの「スナック ほまれ」を始めた当時、南7条界隈はネオンも少なく、ホステス時代はバッカスビル(南5西4)にいたから、尚更そう感じたのだと思いますけど……今は逆にこの静かな感じを好んで足を運んでくれるお客様が多いですね。昔は各店舗が集まって何かをするというのも、少なかった気がします。女性経営者やママさんが集まる「麗しい会」も、できてまだ11年ですから。

見上: 第1グリーンビル(南4西3)の辺りからバッカスビルの辺りまでは、人が押し合いへし合いで歩いた時代がありま

したね。今は何もしなくてもお客さんが来るという時代ではないので、危機感からくる団結感が出てきているかも。

毛利: 店主も高齢化してきていますが、「すすきのが好きだからいつまでも現役でいたい」という方が多いですね。同時に、すすきのには年間300軒以上、新規にお店がオープンしています。「自分の店を出すならすすきので」というステイタスのようなものは、変わらない部分かもしれません。

—すすきのの魅力とは?

毛利: 雑然性だと思います。同じブロック内やビル内に、居酒屋もあればスナック、バー、風俗店まである。それが老若男女を惹き付ける魅力なのではないでしょうか。

見上: ビルが一つのまちみたいな感じですよ。非日常な世

界に、「何か楽しいことないかな」と期待しながら足を運べるのが、すすきのの魅力なのでは。あと、例えば呑み過ぎて記憶をなくすとか、そういういろいろなことを、全て許してくれるのがすすきの(笑)。

—今後していきたいことなどをお願いします。

喜井: 私は盛り上げ隊として関わる中で、挨拶をする人がたくさんできて、今までと違うすすきのの魅力を知ることができたので、その良さをより多くの人に伝えていきたいです。若者がすすきのの伝統を引き継いで、今あるお祭りを盛り上げていくことが目標です。

松尾: 昔から私たちは「聞き上手、話上手じゃないと一人前ではない」と言われてきましたが、もう一度原点に戻ることが大事だと思います。「麗しい会」でも、お客さんがいい気持ちで帰ることのできるよう、お互い切磋琢磨していきたいですね。あと私が函館出身なので、函館弁を話したいという方がお店によくいらっやります。ふるさとの言葉を話しながらリラックスできる場所に、自分の店をしていければと思っています。

毛利: 自分のふるさとを大事にするのも、これからの生き方ですよ。第2グリーンビル(南4西3)に「北海道ふるさと村」という飲食店街があるのですが、ここでは積丹、白糠、留萌、美唄の郷土料理が楽しめて、地域の情報を知ることできる。今の時代の空気に合っている気がしています。あと私は人を育てるという意味で、「すすきの大学」を作りたい。もう一つ、年配のママさんやバーテンダーを表彰する制度もぜひ市に作ってほしいと思っています。

見上: イベントをしたいとか、そういう相談には自分が窓口になっておつなぎすることはできますので、新しい方にもどんどん入ってきてほしいですね。多くの方が携わる中で、すすきのが盛り上がっていけばいいのかなと思います。

※1: 札幌市の「緊急雇用創出推進事業補助金交付要綱に基づくNPOによる地域密着型雇用創出事業その2」にNPO法人コンカリーニョが提案し、採用されたプロジェクト。
 ※2: クリーン薄野活性化連絡協議会によるプロジェクト。すすきの観光協会、すすきの社交料飲組合、すすきの振興協議会、札幌薄野ビルヂング協会、町内会、商工会議所、札幌TMOなどの連携・協力体制のもと取り組みを進めている。